

12月

地球温暖化防止

月間です

あなたにもできる

冬の身近な地球温暖化対策

冬は夏に比べ地球温暖化の危機感が薄れがちですが、暖房用をはじめとしてエネルギー消費量が増える時期です。

そこで、冬のライフスタイルを見直し、家庭や職場など身近なところで次のことを今日から始めてみましょう。

○暖房の温度は20度を目安に設定

○暖房に頼らなくても暖かく過ごせるよう、重ね着など服装の工夫を

○カーテンやブラインドを活用し室内温度を保つ工夫を

このほか、こまめな消灯や電気製品の電源オフなど、身近な省エネルギーに努めましょう。

温室効果ガスの排出量

市では、「朝霞市地球温暖化対策実行計画」を策定しており、平

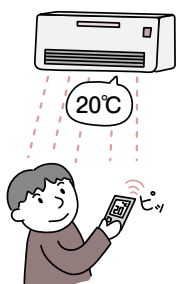
成12年度を基準とし、平成15年度から19年度までの5年間に温室効果ガスの排出量を5%削減することを目標としてきました。

平成19年度の排出量は、約1万1975トで1.0%【122ト】増加となっており、《対平成18年度では約2.7%（313ト）の増加》でした。

活動別排出量で見ると、電気・灯油・都市ガス・液化石油ガスといった施設面でのエネルギー使用量が増加した反面、ガソリン・軽油などの燃料系が減少しています。

今後市職員による温室効果ガス排出量削減の取り組みに対し、皆さんのご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ／環境保全課 内線
2264 048 463
1512（直通）



【温室効果ガスの活動別排出量】

(単位：kg-CO₂)

活動項目	平成12年度 排出量	平成18年度 排出量	平成19年度		平成12年度 対比(%)
			排出量	構成比(%)	
電気の使用	7,166,699	7,130,370	7,268,231	60.70	1.4
灯油の使用	1,520,074	1,653,078	1,582,698	13.22	4.1
都市ガスの使用	1,556,849	1,325,696	1,591,227	13.28	2.2
A重油の使用	869,148	838,321	850,390	7.10	▲ 2.2
一般廃棄物の焼却	529,582	508,826	489,965	4.09	▲ 7.5
ガソリンの使用	99,854	94,158	86,932	0.73	▲ 12.9
液化石油ガスの使用	48,178	55,936	54,593	0.46	13.3
軽油の使用	46,889	36,662	29,510	0.24	▲ 37.1
その他	15,516	18,245	21,173	0.18	35.5
合計	11,852,789	11,661,292	11,974,719	100.00	1.0

※「その他」は、自動車の走行量やガス・ガソリン機関（定置式）における燃料の使用量などです。

ディーゼル車への粒子状物質減少装置に対する補助金を交付します

埼玉県では、大気環境の改善を図るため、ディーゼル車の運行規制を行っています。この規制に対応するため粒子状物質減少装置を装着する場合、次のと

おり補助金を交付いたしますので、ぜひ活用ください。

対象／次の①～④の条件を全て満たす車

①平成20年4月1日現在の県内登録車（使用の本拠がさいたま市内の車両はさいたま市へ申請）

②車両総重量が3.5ト超のディーゼル車（貨物・乗合・特種自動車）

③長期規制適合車（型式がKK―、KL―等）

④初度登録が平成14年4月以降である車

※初度登録が平成14年4月～平成15年3月までの車両に対する補助は今年度で終了します。

補助金額／粒子状物質減少装置

装着費用の4分の1以内（上限額：車両1台あたり10万円、1申請者あたり200万円）

申請期間／平成21年1月30日（金）まで午前9時30分～11時30分、午後1時～4時

※土・日曜日、祝日を除く。

※予算額に達し次第終了。

申し込み・問い合わせ／埼玉県

環境部青空再生課 048 830 3063

